



矢野治佳局長をお迎えて 幸福を引き寄せる愛天愛人愛国の生活



幸福は常に私たちが待っています

2020年9月13日(日) 真の父母様自叙伝 孝情心の書写会 於:浜松北家庭教会

日本全体の伝道教育を牽引して下さる矢野局長をお迎えすることができ、大きな天運を連結していただいた恵み多き一日となりました。今、天寶入籍勝利が願われている中において、浜松北家庭教会で取り組んでいる「真の父母様自叙伝 孝情心の書写」と「愛天愛人愛国の家庭生活の実践」を通して地域化の伝道の可能性を高めて、家庭集会から地域基盤の造成を勝利していけるという希望を感じさせていただきました。

矢野局長がおられるだけで、真の父母様をお迎えしたようで、温かく大きな愛に包まれるようでした。



映像上映

9月4日に行われた真のお父様の天宙聖和8周年記念式の映像を通し、そのご生涯が世界に大きな感動と影響を与えていることを確認する時間となりました。

また、教会の様々な活動内容をまとめたスライドショーを通して、伝道教育局の皆様が私達の天寶入籍、神氏族メシヤ勝利のために、様々なアドバイスを与えてくださり、教育システムを構築してくださり、地域化を進める道を教えてくださり、たくさんの愛を投入してくださっていることを改めて感じ、深く感謝いたしました。

エンターテインメント

いつも工夫を凝らしたパフォーマンスで感動を与えてくれる青年部のメンバーが、韓国で話題になり、真の父母様も健康のため踊られたバウンスの曲に合わせてのダンスを披露してくれました。ビタミンカラーのTシャツで楽しく元気に踊る姿からパワーを分けてもらい、私達も健康のために覚えて踊りたいと思いました。

証し「神氏族メシヤ勝利の為の三位基台形成 毎月100回の家庭集会を目指して」

月に100回の家庭集会を目指して一丸となって頑張っている神婦人部の副基台長が、一人でも多くの新しいゲストを迎えて楽しくて為になり、また来なくなる家庭集会を行うために工夫を凝らして精誠を尽くしている証しをしました。とても希望を感じ自分たちもやってみようと励まされる内容でした。

主催者挨拶

私達の人生は過去から未来まで天の父母様と共に歩む人生なので、全てに無駄がなく意味がある。未来の希望に向かって涙や挫折を喜びに変えていけるように、真の父母様から祝福をいただき、生まれ変わった私達が愛天愛人愛国の家庭生活を通し、人々を幸せにできるようにみんなで力を合わせて今を乗り越えていきましょう。矢野局長のみ言を通して、天運をたくさん受けられるようにと、力強く語って下さいました。

特別講話「幸福は常に私たちが待っています」

コロナ禍で我々の真価が問われる時です。もしコロナがなかったら日本は今頃オリンピック・パラリンピックを成功させ万々歳だったことでしょう。人間が作り上げてきたものがいかに儂いかわ知らされました。コロナのその先に我々の幸福があるのでしょうか。今こそピンチをチャンスに変えないといけない時です。

人はどうすれば幸せになれるのでしょうか。「①人間関係」「②健康」「③財」に恵まれれば幸せになれるとよく言われますが、人が本当に幸せを感じるのは人間関係がうまくいき、愛情を受けている時です。健康診断の数値により、特別保険指導が入り食生活を見直すことで、半年で6kgの減量に成功しました。やはり健康を手に入れるには忍耐や継続する努力が必要になります。では、人間関係を良くするために心を鍛えているのでしょうか。

台湾では宗教者がとても尊敬され宗教同士も仲が良いようです。それに対し日本は信仰に対するイメージが非常に悪いです。その背景を説明している書籍があります。

また塾の講師から教育カウンセラーとなった木下はるひろさんの長年の研究による結果、他人を喜ばせる人生を生きると人は幸福になり、自分が喜ぶ人生を生きると人は不幸になるという結論を得ました。

10個のミカンを3人で分ける時はどの様にすればいいのでしょうか。自分が2個、あとの2人に4個ずつ分けます。一見損をしているように見えて実はそうではありません。それを続ければ、あとの2人も、自分は2個にして相手にあげるようになります。この例からもわかるように、人に与えたものは必ず自分に戻ります。ただ見返りを狙ってはいけません。幸せになりたければ、人を幸せにしてあげることです。



そして野村監督が妻である沙知代さんが亡くなった後に気付いた心情の世界、マザーテレサの残された珠玉の格言を通して、私達が真の幸福に向かって生きていく正しい道を歩んでいきましょう、と激励して下さいました。

所願成就祈禱

今回の書写のテーマである「幸福は常に私たちが待っています」のみ言にあるように、親なる天の父母様、真の父母様は常に私達が幸福になることができるように、正しく生きる道を示し見守ってくださいます。いかに恵まれた立場であるのかを改めて感じ、感謝の思いで自然と涙が流れるような尊い祈りを捧げて下さいました。



懇親会&勉強会

午後は1階孝情カフェにおいて、矢野局長を中心とした懇親会&勉強会を行いました。参加者が、特別講話で学んだこと、恩恵をいただいたことを発表したり、歌ったり、本当に懐かしい家族のような温かい雰囲気、真の父母様に思いを馳せながら貴いひと時を過ごすことができました。矢野局長も何度も繰り返されるアンコールに、笑顔で応えて下さり、美しい歌声を届けて下さいました。

最後に天寶入籍勝利に向かう姿勢についてみ言を語って下さいました。「全ての家庭が天寶入籍できることを願ってお母様が伝道勝利の為の種を蒔いて下さいました。横的430家庭を国内で勝利し、世界を支える基盤を作りあげたいと思います。43家庭勝利のために、それぞれがまず12家庭、まず3家庭、まず1家庭を目標とする。またチームを編成してチームでまず1家庭そして3家庭12家庭を目指していきましょう。勝利して家の近くに12家庭の基台ができたらすごく面白いことが起きると創造力を働かせてみて下さい。もしカンニングをして東大に合格したら、うれしいのははじめだけで1週間でやめたくなくなります。基台を組んで正々堂々と12家庭勝利したら今まで見えなかった景色が見えます。それを1番初めに勝利するのが浜松北家庭教会であってほしいと思います」と、激励の言葉を贈っていただきました。

本当にこのひと時が永遠に続くことを心から願いながら、このご恩に報いて結果で喜びをお返しすることを、心に深く誓いました。

